

1月・2月の催し物

紙の博物館 ☎ 893-0886

- 土佐紙業の恩人・吉井源太
没後100年記念展
12月20日(木)～1月20日(日)
土佐和紙の振興に大きく貢献した紙聖吉井源太(1826年～1908年)没後100年にあたり源太の業績、人柄等を写真、日記、紙製品、用具等で広く紹介し展示します。
- 浜田陽子絵画個展
1月11日(金)～1月27日(日)
日高村在住の浜田陽子さんによる展示会を開催します。伝統ある和紙を使ったイメージ画(はり絵を含む)40点余と絵本13点を展示します。
- 藤川昌美猫絵展
1月25日(金)～2月11日(月)
大阪府在住の藤川昌美さんの展示会です。独特の風合いがかもし出された和紙に一枚の絵として無限に変化する猫たちを表情豊かに水墨画と顔彩で表現された作品50点余、板絵10点余を展示します。

○第23回書き初め作品展
1月27日(日)～2月11日(月)
1月6日(日)に開催された書き初め大会の作品を一堂に展示します。

○かずら工房朝田種4人展
1月29日(火)～2月11日(月)
朝田種さんと手作り仲間たちの展示会。木工やかずら籠、ガラスアクセサリーなど300点余を展示販売します。

ギャラリー・コパ ☎ 893-1200

○水彩画サークル「倫の会」作品展
1月11日(金)～1月15日(火)
水彩画サークル25名による展示会です。身近な風景を題材に優しい色調で描いた水彩画40点余りを展示販売。合わせてパン教室の方たちのクッキーや焼きたてのパンなどもお楽しみください。

○古布からの贈り物
～可憐で愛しき小物達～
1月17日(木)～1月20日(日)
佐川町の渡邊さんが古布を通じて物を大切に多くの人に伝えたいと展示会を開きました。四季の

香袋やブローチ、巾着袋などの他に、今年の干支ねずみの置物や猫、うさぎ等の細工物を200点余展示、一部販売します。

○TSUMUGI紬服展(栗林桐子)・生活骨董・時代箆笥・布展(ももたろう)
1月23日(水)～1月27日(日)
京都の栗林桐子さんと松山のももたろうの展示会です。栗林さんは紬や古布をいかして作った2008春バージョンのジャケットやベスト、アクセサリー等を展示します。ももたろうは、江戸～明治にかけて作られたおひなさま約10点と、生活骨董品や時代箆笥、昔着物合わせて500点余を展示販売します。

○西村秀人・勢津・二人展
—写真・パッチワーク—
2月1日(金)～2月24日(日)
いの町の西村秀人さんと勢津さんの展示会です。秀人さんは仁淀川流域で生まれ育って70余年、仁淀川と大きく関わってきました。写真を始めて15年余、その間に撮った風景写真12点と奥さんの勢津さんの手縫いをモットーとした古布で作ったパッチワークの作品5点もお楽しみください。

80年の歴史と伝統を受け継ぐ伊野地区町民運動会が開催されました

恒例の伊野地区町民運動会が、今年も伊野地区区長会の主催で10月21日(第3日曜日)に伊野小学校運動場で開催されました。絶好のスポーツ日和に恵まれ、小学生のリレー、入学前の子どものわんぱく集まれやパン食い競争など16種類に7チーム300名余りが参加しました。

熱戦の結果、長い歴史と伝統に輝く優勝旗は男子(紫紺)、女子(深紅)共に23区1(北内地区)が手にしました。グラウンド一杯に心地よい汗がはじけ、人から子どもまで楽しいレクリエーションの一日を過ごすことができました。

昭和2年から戦中戦後を通じて休むことなく続けられてきた運動会は今年で第80回を迎えます。一時

は職場対抗等も取り入れられ大いに盛り上がりましたが、近年高齢化により参加者の減少は進む一方です。歴史と伝統を受け継ぐ運動会を盛り上げていくためにより多くの町民の皆様の参加をお待ちしています。

伊野地区区長会



今年も、分電盤のサーキットブレーカが落ちる(切れる)季節になりました。

有料広告

その原因は、電気ストーブや電気コタツ等の電気を多く流す器具の出番が来たからです。電気コードやケーブル内の電線を通る電気は、形状や材質により限度があります。電流が限度を超す前にサーキットブレーカが働いてくれるのです。

もしも、ブレーカが正常に作動しない場合は電線の発熱や発火となり、火災の原因にもなります。またケーブルの絶縁被覆が劣化している場合もその原因となります。早めのご相談をおすすめします。

TD 有限会社 田村電気

〒781-2102 いの町公園町41番地

TEL 892-0925